

ここにのこる音楽をみんなで・・・

# 京都音楽センター NEWS

●発行

(株)京都音楽センター

〒604-8481 京都市中京区

西ノ京冷泉町 118-3

Tel. 075-822-3437

Fax. 075-822-3439

## 文化・芸術はムダか？

時田 裕二

京都府の北部にある養護学校から依頼をいただき、JAZZバンド「GYAO」のメンバーと一緒におよびましてきました。

朝から雨が降る中、機材を搬入。演奏会場は3階にある体育館で、「搬入が大変」と思っていたのですが、車いすなどが移動しやすいように大きなエレベーターがあり、沢山の機材を一度で3階まで上げることができました。

演奏者が来るまでに音響のセットをしてしまおうと同行してくれたスタッフと準備開始。準備しながら担当の先生に、学校の様子を聞いたり演奏するにあたっての注意などを聞かせてもらいました。ちょうど準備ができたころにメンバーが到着。楽器を運び込んでリハーサル開始。

今回は、先生からのリクエストもあって、「きたがわてつさんの『まつり』」と「ユズリンこと中山譲さんの『風の中へ』」を演奏させてもら

うことになっていました。

この2曲は、生徒さんたちが音楽会などでもよく歌い、踊っている曲だそうで、演奏に合わせて、歌い踊ってもらおうと用意してきていました。先生にも歌で協力してもらうことにして、準備は完了。

お昼ご飯をいただきいよいよ本番。楽しみな顔、ちよつと不安な顔、眠そうなお顔。いろいろな顔で会場に入ってくる生徒さん。担当の先生の紹介でコンサートが始まりました。

ジャズの曲。日本の曲。映画音楽。いろいろなジャンルから演奏が続きます。そして、お待ちかねのリクエスト曲。ボーカル担当の先生が「のってるかい！」と盛り上げてくれて「まつり」と「風の中へ」が始まりました。すると、立ち上がって踊り出す生徒さんが続出。学校オリジナルの振り付けで、元氣いっぱい踊ってくれました。

この学校は、様々な障害を

持つ生徒さんが通っています。それぞれの生徒さんの発達段階に合わせた教育を続ける先生たちもスゴイと思いますが、その先生たちに応えて伸びていこうとする生徒さんの気持ちを、楽しく踊る姿から感じることができて、舞台袖で涙がでました。

同時に、もつともつと豊かな教育ができたら、障害を持つにいても、今より生きやすいはずなのにと悔しくもなりました。

音楽に限らず、文化芸術に触れ、自ら楽しみ表現していくことは、人として発達していくために、必要なことなのだと思います。武器や戦闘機を買ったり、他国を脅したりするために、日本の国の予算を使わず、人が育ちお互いを大切にしていくために予算を使つて欲しいと思います。

今回の演奏は、京都府の予算で実現したそうです。しかし、その金額は本当は充分な金額とは言えません。あと少

し予算が付けば、もつと演奏者を増やして演奏できるし、もつと生徒さんたちが喜び、発達の手助けになる文化を何度も届けることができるのです。金額でその価値を計ることはできませんが、先生たちの努力と、演奏者たちの心意気がなければ実現しなかった訪問演奏だと言えます。

私たちも演奏者たちも、過分な金額を求めているのではありません。せめて演奏活動を続けていける対価が欲しいと思っています。

折しも、俳優・歌手・演芸家・演出家など、実演者の団体が構成する「日本芸能実演家団体協議会(芸団協)」が「文化芸術立国実現を求める請願署名」に取り組み、「国民の実演芸術創造と享受の機会を拡充すること」などを掲げ、国の予算に占める文化予算の割合を0.1%から0.5%に増やすよう運動を始めました。

ムダに見える文化芸術こそ人類の発達に必要なものではないか、決して言い過ぎではないか、決して言い過ぎではないか、心に残る音楽を発信し続けたいと思います。

# 京都音楽センター コンサート情報

お申し込みは  
京都音楽センターへ  
TEL. 075-822-3437

## ケロポンズ・ファミリーコンサート

日 時：2010年12月12日（日） 13:30 開場／14:00 開演  
会 場：京都府立府民ホール「アルティ」（地下鉄「今出川駅」下車徒歩5分）  
入場料：3500円（全席指定・当日4000円）  
※恒例になった「ケロポンズファミリーコンサート♪」  
今年も楽しいコンサートにお越し下さい♪



## みやこ & ようこ 気軽にミニ・Mini・ライブ

日 時：2010年12月18日（土） 17:30 開場（食事は18:30まで）  
18:30-20:20／途中20分程度の休憩があります。  
入場料：1500円（1ドリンクとクッキー付き／休憩の間にお楽しみいただきます）  
会 場：喫茶ほっとはあと（京都市営地下鉄「西大路御池駅」3番出口すぐ）  
出 演：みやこ（和田みや子）／ようこ（長曽葉子）／廣岡明郎（ベース・ギター・コーラス）

## 親と子のユズリン地球へのラブレターコンサート

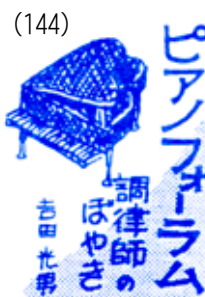
日 時：2011年1月29日（土） 開場17:30／開演18:00  
入場料：大人2500円／3歳から中学生・障がい者1500円（当日はいずれも500円UP）  
会 場：亀岡会館  
出 演：中山譲  
お問い合わせ・チケットの申込みは、中西さん（0771-23-0334）へ

### 京都音楽センター ピアノサービス部門

■ピアノフォーラム 吉田光男（社団法人日本調律師協会会員）  
・ピアノ調律・修理・販売・音楽教室 TEL075-811-8634 FAX075-822-3439  
・E-mail/stimmer@mbox.kyoto-inet.or.jp

昨秋、登山仲間の人がガンでなくなつた。病気のことは知っていたが、最後の様子は誰にも知らされなかつた。  
本人の希望で身内だけで葬式を済ませたそう

葬儀場建設反対ののぼりがあちこちで目に付く。  
かつて結婚式場を展開していた業者が今や葬儀会場に転換しているご時世だ。受験競争、就職競争、昇進競争の荒波を生き抜いた団塊世代の定年後に待つ余生は、葬儀ビジネスの見込み客となるのか、なんて考えたすと、建設反対に一票を投じたくなる。



だ。実家は大阪の浄土真宗のお寺だと知り、納骨後にお参りに出かけたのだが、共同墓地として建てられた建物内に、いわゆるコインロッカー式の祭壇に納骨されている。好きだった酒もそこに供えることもできず、花さえ入口にある共同のお供え場に置かなければいけない。さびしい思いで帰ってきた。  
奈良の大峰山に入れ込んでいて、二人で行く計画が延期になっていた。そついう心残りがある人だけに、黙って隠れてしまつことが、はたして残つたものに対する良き配慮なのかと考え込んでしまふ。せめて墓石の下にでも居てくれたらと思う。  
高額な請求をする葬儀場には反対だが、別れのけじめをつける儀式はあつてほしかった。



21回国鉄まつりが十月末に開催され、今年も音響スタッフとして参加させていただきます。

直前の天気予報で「台風上陸か？」と報道され、もしや中止か延期と思われるのですが台風は近畿地方を避けてくれ、予定通り開催されました。

このまつりは、一九八七年に、国鉄の分割・民営化でJRに採用されなかった労働者を中心に、労働委員会と裁判所で続けてきたたかいとともにありました。21回続いたまつりも、今年の6月に最高裁で和解が成立し、政治解決したことをうけて最後のまつりとなりました。

闘いを支援する市民や労働組合が模擬店を出し、トラックで作ったステージで、ゲストや国鉄の労働者が、歌やギターの演奏を披

露してくれま

午前中は、ステージのプログラムも順調に進み、天気も大丈夫だったのですが、午後に入ろうとするころ、ポツリポツリと雨が降り出しました。

それから後は雨の中でイベントが進行しました。しかし、労働者のまつりらしく、雨の中でもがんばる出演者に応じて、降りしきる客席で傘をさして応援する人たち。

ゲストのバイオリン奏者「柴田奈穂」さんも、雨が敵の楽器にも関わらず、熱演で盛り上げてくれました。

ステージの最後には、当事者でもある「国鉄労働者」による合唱と訴えがありました。

久しぶりに聞く国鉄のうた「えは心にしました」。

♪荒れたヤード プラットホーム

切り捨てられた線路  
取り上げられた自慢の仕事  
悩みぬいて死んだ仲間  
移りゆく三年の月日  
二度目の首切り受けた男たち

怒りを新たに

俺たちはひるまない  
1047人の固い絆  
と歌う「職場に帰る日を信じて」

♪つらい差別は

俺たちだけじゃない  
こみ上げる怒りは  
俺たちだけじゃない  
未来を 未来を  
はばむものを許さない  
日本中の働く仲間と  
手を取り合って

俺たちは

未来をかけて闘い続けよう  
と歌う「未来をかけて」  
誇りを持つていた仕事を  
取り上げられて首切り。  
長い裁判闘争。  
なれない行商。  
家族にかける苦労。

働く男達の苦労を思うと、

涙がとまりませんでした。

国鉄労働者の闘いは、自分たちのだけのためではなく、働く人たちみんなの、

そして、人間の誇りを失わないでいたいと願う人たちのための共同の闘いだつたのだと思います。

本当に長い闘い、ご苦労様でした。  
(Y・T)

## 特選シリーズCD 定価各 1500 円!!

### 平和のうたベスト1・青い空は

【収録曲】青い空は / ねがい / 折り鶴 / ヒロシマの有る国で / 歩いていこう / ピース・ナイン / あの日  
の授業～新しい憲法のはなし / 憲法九条五月晴れ / 日本国憲法前文 / さとうきび畑 / いとし子よ /  
Love&Peace～私たちは歌い続ける / 死んだ男の残したものは / 祈り / 原爆を許すまじ

### 平和のうたベスト2・We shall overcome

【収録曲】We shall overcome / ケサラ / 朝露 / 私の愛した街 / ヒロシマ / 鳥の歌 / What a wonderful  
world / 戦争はもういやだ / People of the World / We are the world / 平和に生きる権利・ベンセレモ  
ス / ノー・パサラン / アメイジング・グレイス / Imagine (インストゥルメンタル)

### ロシア愛唱歌ベスト1・カチューシャ

【収録曲】カチューシャ / 心さわぐ青春の歌 / 灯 / シベリア大地のうた / 空にお日さま / 収穫の歌 /  
ポーリュシカ / ポーレ / エルベ河 / リンゴの花咲くころ / ロマンス / アムール河の波

### ロシア愛唱歌ベスト2・トロイカ

【収録曲】ステンカ・ラーシン / 鶴 / なつかしきヴォルガ / バイカル湖のほとり / トロイカ / 仕事の歌～ドゥ  
ビヌウシカ / うぐいす / つばめ / 泉のほとり / キエフの鳥の歌 / 国際学生連盟のうた / ロシア / とべよ鳩よ

### 労働歌ベスト・晴れた五月

【収録曲】がんばろう / 世界をつなげ花の輪に / 晴れた五月 / 国のすみずみから / しあわせの歌 / 町  
から村から工場から / 同志は倒れぬ / 赤旗の歌 / インターナショナル / 沖縄を返せ / 心はいつも夜明  
けだ / たたかいの中に / 闘うわれら / 未来をかけて / インターナショナル (オーケストラ)

お申込は京都音楽センターへ (TEL.075-822-3437・FAX.075-822-3439)

ホームページからの3000円以上の注文は、送料がサービスです。是非ご利用ください。

## 京都音楽センター 出版案内

ご注文は、お電話 (Tel. 075-822-3437・Fax 075-822-3439) かお葉書で、  
ホームページ (<http://www.wawawa.ne.jp>) からも注文できます。  
お振込みは郵便振替 [01000-3-23000・京都音楽センター] へ



保育のためのCD付きピアノ伴奏集

## せんせいだいすき

CD付  
楽譜集

CD 付き楽譜集 定価3000円 (税込み) (送料 290 円)

【収録曲】はじめまして / チャンマリチャン / あしたも元気で / ニャニニョの  
てんきよほう / 白熊のジェンカ / みつけた / 夢をかなえてドラえもん / ぼよ  
よん行進曲 / どんときも。 / 『ね』 / またね / めざせゴール (☆) / LET'S GO  
いいことあるさ (☆) ☆以外の11曲はCDに収録 (カラオケ付き)

遊び方満載=チャンマリチャン / ニャニニョのてんきよほう  
簡単ダンス・イラスト付き=めざせゴール / ぼよよん行進曲 / 白熊のジェンカ  
手話ソングにも挑戦=あしたも元気で  
合奏にも挑戦=どんときも。 / LET'S GO いいことあるさ



## きたがわてつ GLOBAL ZERO

CD 定価1000円 (税込み)  
(送料 200 円)

【収録曲】

グローバル・ゼロ  
思い出してごらん  
町  
日本国憲法前文

大量破壊兵器のない世界を願って送る  
New ミニアルバム。

全都道府県で「きたがわてつ」のコンサートをひらき憲法の花を咲かせたいと願っています。  
イベントゲスト、コンサートなどお気軽に声をかけてください。  
「憲法サポーターズ with TETSU」も募集中です。



## 北川翔 Balalaika

CD 定価2500円 (税込み) (送料 200 円)

【収録曲】 ララのテーマ / ヴォルガの舟歌 / ともしび / ポー  
ルシカ・ポーレ / カリンカ / 愛の歌 / 悲しい歌 / うぐいす /  
夜道を一人歩けば / ロシアの調べ / あなたに逢えたら / 「行  
商人」の主題による変奏曲 / 秋の葉も枯れ落ちて / 想い出し  
ておくれ / ポロネーズ / マズルカ No. 2 / 剣の舞 / 月は輝く

ロシアの代表的な弦楽器「バラライカ」。国際ロシア民族楽器コンクール「ペロゴリエ杯」で、ロシア人以外  
で始めて1位になった「北川翔」がお届けするCDアルバム。



三上満と松野迅がおくる

## 星めぐりの歌

CD BOOK 定価3000円 (税込み)  
(送料 290 円)

モーツァルト、宮沢賢治、カザルスのメッセージを三上満と松野迅が伝えます。  
場所は、賢治ゆかりのカザルスホール。

「星めぐりの歌」「鳥の歌」の合唱、  
「トロイメライ」「シャコンヌ」の演奏がライブCDに。  
三上満のトークと松野迅のエッセイを、本書におさめました。

歴史はおしえてくれます。  
私たちに希望をもたらす人びとがいたことを…